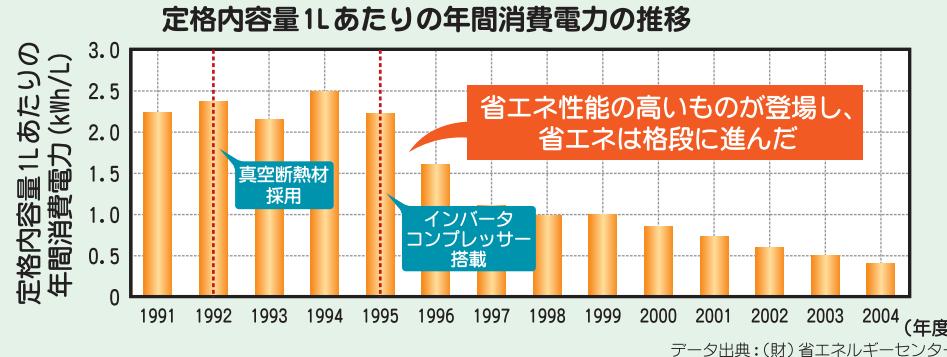


5. 商品別省エネ家電の選び方・使い方の説明はこのように

冷蔵庫

省エネルギーの推移

冷蔵庫の省エネルギーについては、約10年間で内容積1Lあたりの年間消費電力量は1/4以下と、かなり省エネが進んでいます。一般に、容量が大きいほどたくさんの電力を消費しますが、最近は400L前後のものは小型のものよりも省エネ性能が高いものが登場しています。真空断熱技術やインバーター機能が開発・採用されるようになって省エネは格段に進みました。

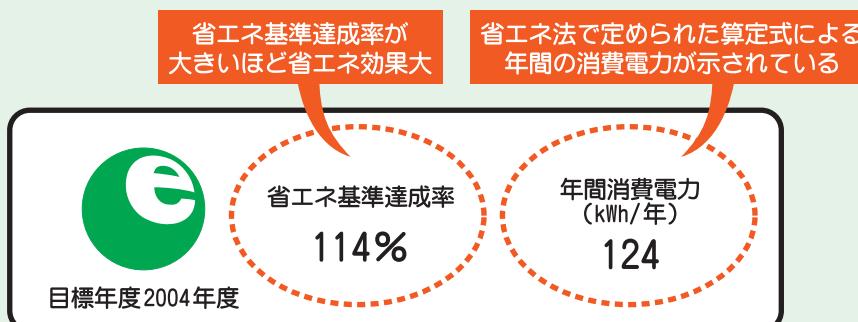


冷蔵庫省エネ基準

- 目標年度：2004年度
- 対象形態：冷凍冷蔵庫（強制循環方式）
- 達成率算出方法
 $X = EM / E \times 100$
X：省エネ基準達成率（%）
E：エネルギー消費効率（kWh/年）
EM：基準エネルギー消費効率（kWh/年）

- 基準エネルギー消費効率
特定技術（インバーター技術または真空断熱技術）を使用したもの
 $EM = 0.507V + 147$
特定技術を使用していないもの
 $EM = 0.433V + 340$
- V：調整内容積で冷凍室の定格容積V2と冷凍室外の貯蔵室定格内容積V1によって、 $V = V1 + K \times V2$ で表示
K値
冷凍室は、
スリースター室タイプ：2.15
ツースター室タイプ：1.85
ワンスター室タイプ：1.55

冷蔵庫における省エネラベルの示す内容



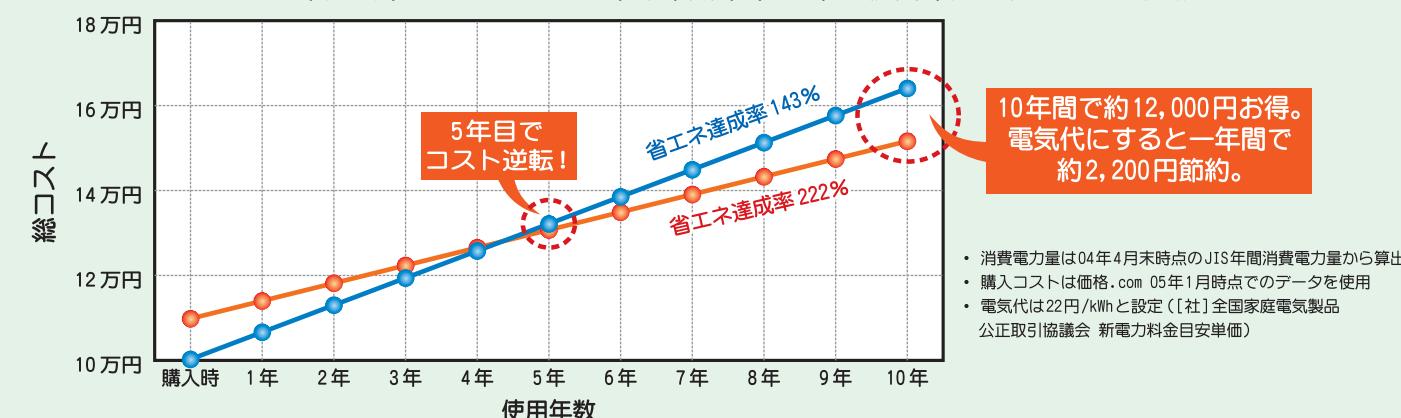
商品を奨める上でここをよく押えましょう！

- 家庭で使用する電気製品の中で、冷蔵庫はエアコンについて電気を消費するものであり、電気代の節約のためには、どのような機種を選ぶかが重要であることを伝えましょう。
- ライフスタイル（まとめ買いあるいは毎日買物）や家族の人数など選定条件をよく把握しましょう。
- 冷蔵庫も「省エネラーリング制度」の対象機種です。上記の選定条件を踏まえ、省エネラベルを活用して要望にあった商品の省エネ程度を説明し、省エネ基準の達成度が高い商品を奨めましょう。
- 特に、冷凍室の大きさは消費電力に大きな影響を与えることを説明し、省エネ効果が高くかつライフスタイルに合った商品を奨めましょう。
- 今、使っている製品があれば、最新機種と比べてどのくらい省エネで、結果的に電気代がどの程度安くなるかを説明しましょう（上図のグラフを活用して）。

省エネ効果の高い冷蔵庫はこんなにもお得

省エネ基準達成率222%の冷蔵庫は143%の冷蔵庫よりも少し高価ですが、総コストは5年目で達成率143%の冷蔵庫よりも安くなります。

省エネ基準達成率143%と222%の冷凍冷蔵庫（416L）の使用年数と総コストの比較



- 消費電力量は04年4月末時点のJIS年間消費電力量から算出
- 購入コストは価格.com 05年1月時点でのデータを使用
- 電気代は22円/kWhと設定 ([社]全国家電機製品公正取引協議会 新電力料金目安単価)

1991年製の冷蔵庫と2004年製の冷蔵庫の比較

(定格容量400Lを想定)	年間消費電力 (kWh/年)	10年間の電気代 (円)	CO ₂ 排出量 (kg)
① 1991年製	920	202,400	3,478
② 2004年製	160	35,200	605
差 (②-①)	-760	-167,200	-2,873

- 各冷蔵庫の消費電力は左図の値を使用
- CO₂排出量 (0.378kg/kWh: 事業者からの温室効果ガス排出算定方法ガイドライン、平成15年7月、環境省)
- 樹木CO₂吸収量 (13.9kg-CO₂/本・年: 50年もの杉、樹高22m、直径26cmとして: 地球温暖化防止のための緑の吸収源対策、環境省/林野庁より)

50年ものの杉に換算すると、2004年型機種一台のCO₂削減量は約21本分に匹敵！



省エネ効果を発揮させるため上手な使い方を教えましょう！

- 冷蔵庫の庫内は季節にあわせて温度調整をしましょう。これで年間で電気約26kWhの省エネ、電気代で572円の節約となります。
- 物を詰め込み過ぎないように整理整頓に気をつけましょう。これで年間で電気約23kWhの省エネ、電気代で506円の節約となります。
- 冷蔵庫は壁から適当な間隔をあけて設置しましょう。これで年間で電気約18kWhの省エネ、電気代で396円の節約となります。
- 冷蔵庫の扉は開閉回数を少なくしましょう。これで年間で電気約5kWhの省エネ、電気代で110円の節約となります。
- 開けている時間を短くしましょう。これで年間で電気約6kWhの省エネ、電気代で132円の節約となります。
- 熱いものは冷ましてから入れましょう。これで年間で電気約44kWhの省エネ、電気代で968円の節約となります。
- 以上までのこと実行すれば、年間2,700円さらに経済的となります。